堺市介護人材確保・育成支援事業について

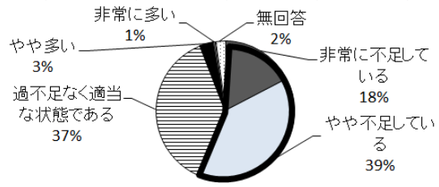
施策実施に至る背景と経過

■高齢化の進展、要介護等高齢者が増加する一方で、介護従事者の入職率は伸び悩んでおり、2025 年（平成 37 年）には、市内で 3,200 人の人材不足が見込まれている。

■平成 24 年から福祉、介護人材確保・育成支援のため事業所を対象とした研修会を開催する等の取組みを行ってきた。また、老人福祉施設部会や教育機関との連携も進めてきた。

介護人材に関する現状と課題

■職員数が不足していると感じている介護事業者が半数以上を占めている。 ※堺市高齢者等実態調査（平成 28 年度）における介護事業者調査より



■職員の確保や質の向上を図るために必要だと思う取組み

1 位：基本的な技術や実践的知識の向上

2 位：利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上

3 位：意思疎通を図るためにミーティングの充実

※堺市高齢者等実態調査（平成 28 年度）における介護事業者調査より

■堺市内介護事業者の傾向

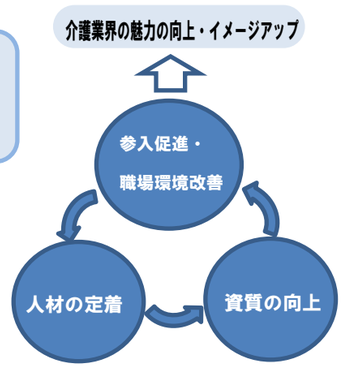
【利点】職場内では、互いに連携しながら仕事を勧めており、上司は部下をフォローしている。

【課題】上司は時間が足りないため、部下とじっくり向き合えていない。真面目に仕事をしているがマネジメント力が低下している。 ※職場環境実態調査～はたけあ～（平成 29 年度）より

取組み方針

◆参入促進・職場環境改善
◆人材の定着
◆資質の向上

上記の各項目の取組みについて、事業者・学校・行政・職能団体等の関係機関が連携し、介護業界の魅力の向上やイメージアップ、介護サービスの質の向上に取り組みます。



目 的

更なる高齢化を見据えて、介護サービスの質の維持・向上を図るため、介護業界への入職者の拡大と定着・育成に向けて、介護事業者が自律的に職場環境の改善に取り組めるようになるための支援を行う。

さらに、堺市老人福祉施設部会や教育機関、雇用推進課等の関係機関との連携を図りながら、多角的に事業を展開する。

参入促進・職場環境改善

関係主体が連携した取組み

（１）福祉と介護の実践発表会の開催（関西大学との地域連携事業）

◆開催日　平成３０年７月１日（日）

（第１部）実践発表会

講師：関西大学　黒田　研二　教授

（第２部）実践発表内容のポスター掲示及び就職相談会　（来場者）227 人

◆会場　堺市総合福祉会館

◆口述発表 12 演題、ポスター発表 12 演題

（２）潜在介護職、女性求職者確保への啓発

◆子育て情報誌「まみたん」に啓発記事を掲載

～介護のお仕事はじめてみませんか？～【平成 30 年 1 月号】

◆女性のキャリアブランク解消事業（雇用推進課所管）で仕事内容の紹介

堺市老人福祉施設部会から講師 3 名派遣【平成 30 年 2 月 14 日（水）】

◆啓発チラシ、啓発用ウェットティッシュの配布

大阪府泉北地域介護人材確保連絡会議で作成の啓発媒体を配布

PR 動画配信予定

学校への取組み

（１）介護の仕事の授業、就職説明会への参加

◆太成学院　インターンシップ制導入を検討中

◆羽衣国際大学　出前授業

【平成 30 年 11 月 16 日（金）】

◆「福祉と介護の実践発表会」のお誘い（大阪府下 19 校へ訪問）

行政主導の取組み

（１）人材確保・育成推進事業者の表彰

好事例を紹介し、介護の魅力を発信することを目的に実施。

市ホームページへ事業所名と活動内容を掲載する。

上記実践発表会で表彰式。【平成 30 年度末予定】

（２）映画「ケアニン～あなたでよかった～」上映会

◆新人介護福祉士と担当となった認知症高齢者との関わりのなかで成長する様を描いた映画を上映。

【平成３０年１０月２７日（土）】

（３）離職防止対策

ダブルケア相談窓口の設置

支援者向け研修会の開催

【平成 31 年 3 月 4 日（月）】

（４）労働環境・処遇の改善

◆処遇改善加算の導入

外国人材への取組み

（１）外国人人材の活用

◆介護事業者へ雇用状況の調査

◆管理職向け研修にて外国人人材活用のマネジメント術«再掲»

◆アセアン交流推進室との連携

人材の定着

関係主体が連携した取組み

（１）研修体制の構築（新任期、中堅期、管理期）と実施

◆管理期：「介護現場の生産性の向上」【平成 30 年 7 月 26 日（木）】17 名

「外国人人材活用のマネジメント術」【平成 30 年 11 月 20 日（火）】26 名

◆中堅期：マネジメントを学ぶ研修として、現場に必要な研修を計画するプロジェクトチームを結成。

【平成 30 年 9 月～平成 31 年 2 月　計 6 回】11 名

◆新任期～中堅期：「介護の現場活性化研修会」【平成 31 年 1 月 22 日（火）】

中堅期のプロジェクトチームが企画・立案したテーマで実施

資質の向上

関係主体が連携した取組み

（１）現場で使える介護技術に関する研修

研修プロジェクトチームが企画した研修の開催«再掲»

（２）大阪府理学療法士会との連携

介護技術研修会の共催の検討

（３）自立支援に向けた他事業との連動

介護予防ケアマネジメント検討会議等